



イスラエルで開発された
「超高速開発ツール」(BRMS)と呼ばれる
SAPIENS
の販売・サポート

サピエンス・ジャパン株式会社

Opensquareセミナー用

1. 主なお客様の事例紹介

No	顧客名(敬称略)	サーバー	用途	Sapiens稼働システム実績	画面数	DB数
1	A社		再構築	クレジットカード会社向けシステム (ファイナンス、リース、延滞金) 他	1100	400
2	B社		再構築	営業支援システム(COBOL 130万Step)の再構築	500	450
3	C社		再構築	販売管理システム(PL/1 370万Step)の再構築	650	560
4	D社		再構築	経理システム(COBOL 180万Step)、物流システム(90万Step)の再構築 他全14システム		
5	E社		再構築	経理システム(COBOL 120万Step)、輸出、ファイナンスシステムの再構築	8000	7800
6	F社		汎用機からダウンサイジング 再構築	管理、購買、販売、共済、共通システム等 全29システム(COBOL 2700人月規模)の再構築 Sapiens実績工数:1000人月 ユーザー数:6000		
7	G社		汎用機からダウンサイジング 再構築	xx県様向け共通、管理、購買、販売、xxシステム等の経済業務全般	3500	2800
8	H社		再構築	商品管理、店舗支援システム ユーザー数:250	1000	150
9	I社		再構築	商品管理、発注、仕入、在庫管理、販売管理システムの再構築 ユーザー数:800	1500	350
10	J社		汎用機からダウンサイジング 再構築	卸業:販売管理システム	2000以上	500以上

2. SAPIENS導入実績(海外、抜粋)



IBM (USA, Canada, UK, Germany)
Sapiens を(AD/Cycle)として独占販売
 (City of New York, State of Iowa, Colorad, Arkansas, North Carolina)



AXA Insurance(HP UX)
 (France, Germany, Ireland, Netherlands, UK, USA)



Prudential Retail Financial Services



Volkswagen

Swiss Bank



Mercedes-Benz



Deutsche Bank



RENAULT



Union Bank of California



Rank Xerox



Deutsche Lufthansa AG



3M (Austria,Belgium,Finland,France, Germany,Ireland,Italy,Netherlands, Portugal,Spain,UK)



Air France



Esso



British Telecom



Panasonic UK



Italia Telecom



Mazda Parts Europe(HP UX)

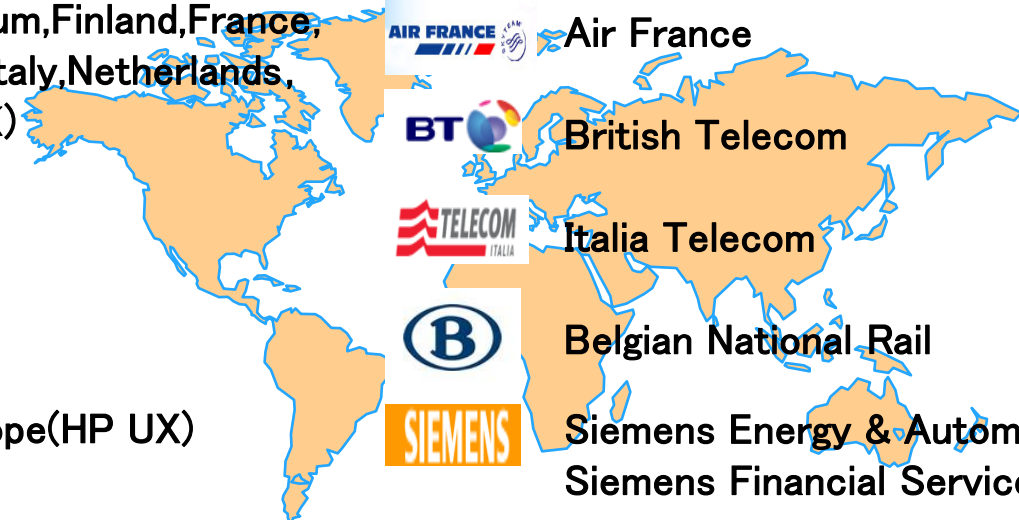


Belgian National Rail



Siemens Energy & Automation
Siemens Financial Service

etc.

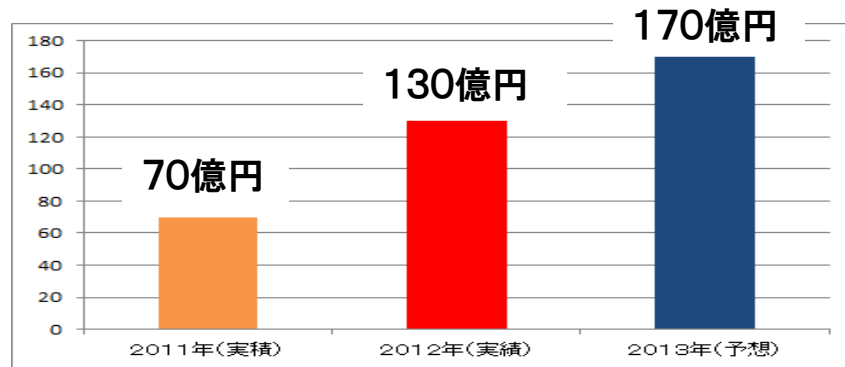


3. Sapiens International社のご紹介

1. Sapiens International

本社機構 イスラエル
設立 1982年
資本金 19億円(1900万US\$)
上場 NASDAQ(米国), TASE(イスラエル)
売上 2011年 70億円
 2012年 130億円
 2013年 170億円(予想)
従業員 800名(2013年1月)

売上推移



1972年: ワイツマン科学研究所(イスラエル)
 「言語を使わずにシステムを構築
 する研究」を開始

1970年	1980年	1990年	2000年	2010年
	72年:ワイツマン研究所開発プロジェクトスタート			
	82年: Sapiens社設立			
	87年:ヨーロッパを中心に販売を開始			
		93年: サピエンス・ジャパン設立。		

イスラエル政府のバックアップ

■イスラエル首相府 ■農業省 ■建設省 ■国防省 ■財務省 ■警察庁 ■保健省 ■運輸省 ■労働省 ■社会保険庁 ■国境警備庁 ■テルアビブ市 ■The Nuclear Research Institute ■The Technion(Israel's Technology Institute) 等。

提供バージョンは全てフォローしている

全ての提供バージョンは、お客様のご要望に合わせて、フォローしています。
 弊社の都合でサポート等の打ち切りはしておりません。

4. Sapiens Internationalの事業継続体制

Sapiens Internationalは、全世界でビジネス展開をおり、そのBCM(事業継続マネジメント)については下記の対応をしています。

1. 英国、米国、カナダ、イスラエルに開発センターを保有し、各地で BCM(事業継続マネジメント)を実施しています。
2. 不測の事態に備え、Sapiens製品のソースコードや技術情報等を「エスクロー・エージェント(第三者預託機関)」に預託しており、Iron Mountain Intellectual Property Management(米国)と NCC Group(英国)と 契約しています。

万が一Sapiens Internationalのライセンス提供機能が不可能となった場合に、お客様はエスクロー・エージェントに預託されたライセンス(場合によってはソースコード)を入手することが出来ます。

3. サピエンス・ジャパンでは、2010年7月に「ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)ISO27001」を取得し、事業継続管理の観点からも複数世代のライセンスを保持・管理しています。

5. サピエンス・ジャパン株式会社のご紹介

名 称	サピエンス・ジャパン株式会社
本 社	〒220-6217 横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC 17F
設 立	1993年(Sapiens の国内販売総代理店として設立)
資 本 金	6000万円(Sapiens International 親会社 90%)
代 表 者	岡田 學



Sapiensとの出会い

1991年1月、私はロンドンでSapiensと初めて出会いました。
Sapiensはイスラエルで生まれたものですが、当時、Sapiens International社のHead Quarterはロンドンにありました。滞在中に湾岸戦争が勃発し、ロンドン市内も騒然としておりましたし、Sapiensの開発部隊はイスラエルにいますので、Sapiens International社も、イスラエルとの連絡で右往左往しておりました。
そんな中でSapiensの説明を受けデモを見、ユーザを訪問しました。
Sapiensに感動しホテルのテレビでミサイルが飛び交う映像を見て興奮した一週間でした。



代表取締役 岡田 学

Sapiensの説明はこれまでのシステム開発の有り様を根本的に変え、それまでの常識を 超えたもので、正直なところ眉唾物ではないかと疑いも持っていましたが、ユーザのCIBC(Canadian Imperial Bank of Commerce)を訪問したとき、ユーザ部門の人達の次のような言葉によって、疑いはかなり薄れたことを思い出します。

「アプリケーション開発中でも、毎日のようにアプリケーションを見ることができ、昨日頼んだことは、翌日には直っており、自分たちでアプリケーションを作っている気がした。
これまで、ユーザ部門の登場場面は始めと終わりだけで、開発中にアプリケーションを見る、使う事は不可能であった」その後、トライアルとしてインストールし、使用してみてSapiensの革命的ともいえる開発方法を実感し、日本での販売を決断しました。
一年以上かけて日本語を使えるようにし、膨大な開発者用画面の日本語化をすすめ、日本国内での販売可能な商品に仕上げ、販売、サポートのために当社を設立しました。